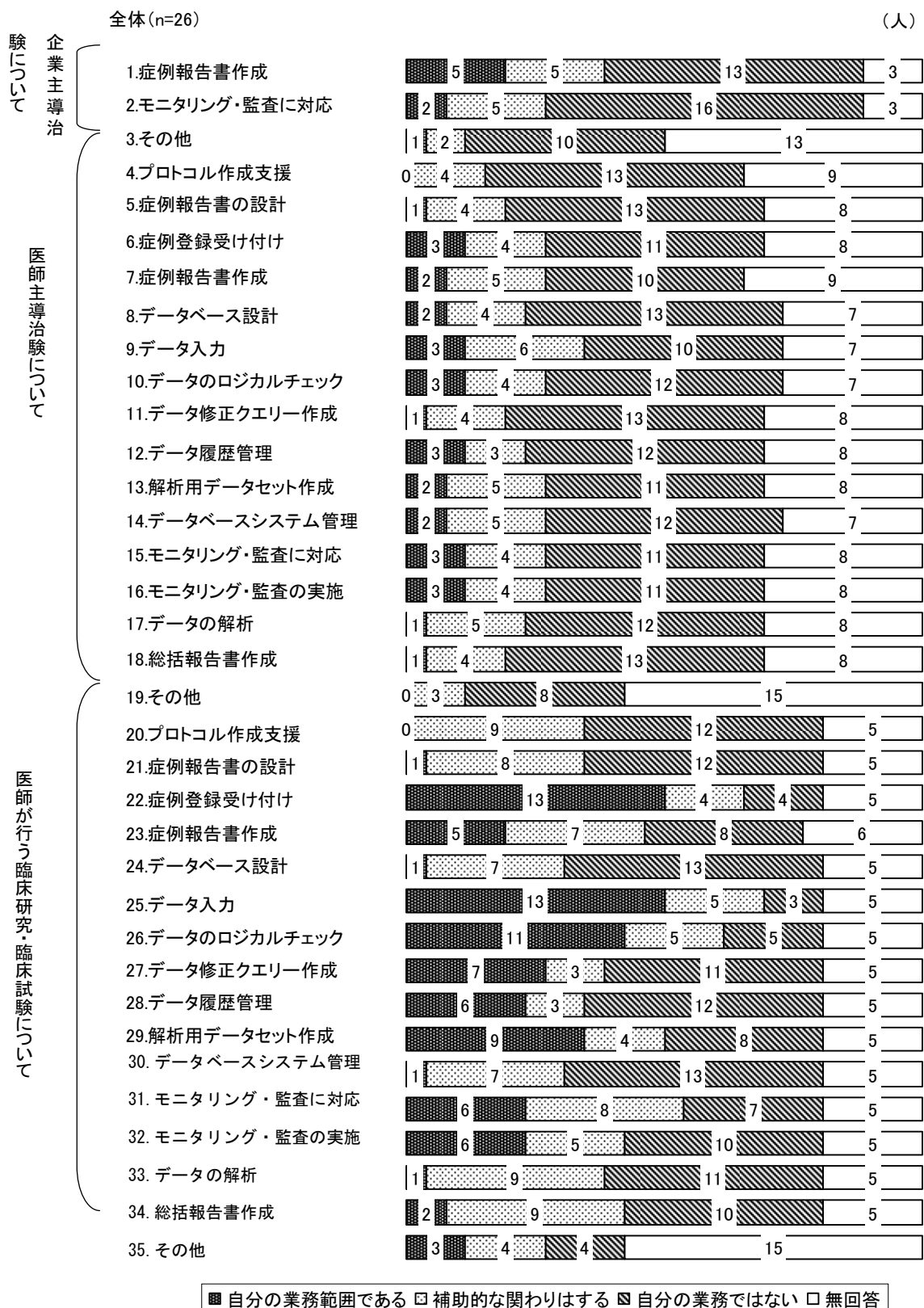


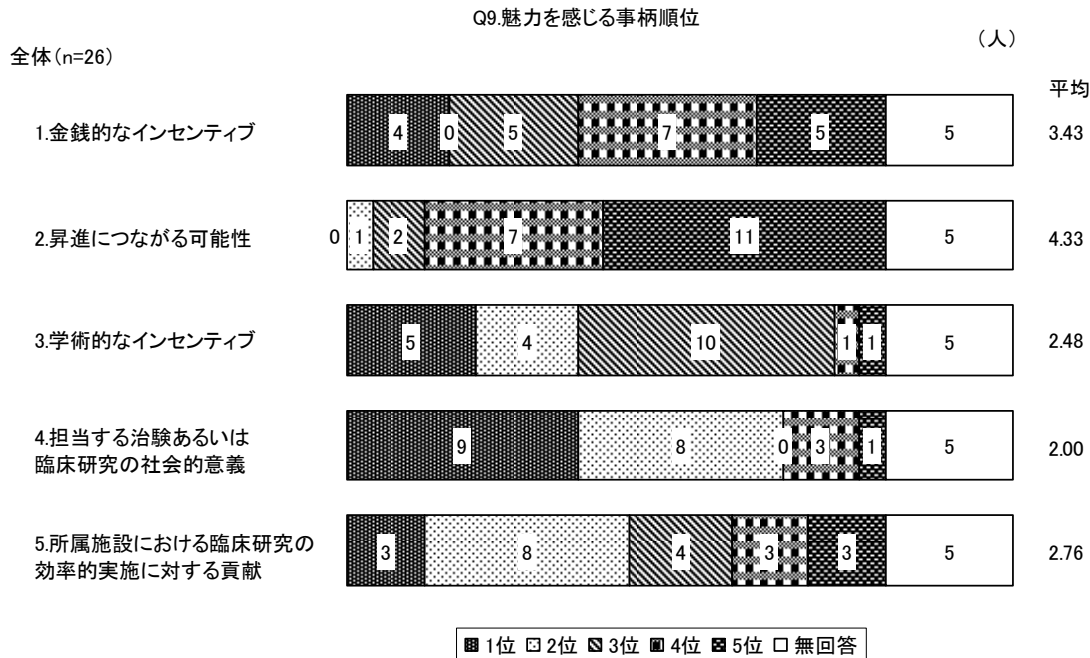
(8) 業務内容について

Q8.業務範囲



担当業務として、「症例登録受け付け」(50%)、「データ入力」(50%)、「データのロジカルチェック」(42%)などデータセンターの業務を担っている方が多かった一方で、企業主導治験の「症例報告書作成」に関わっている方もいた(19%)。

(9) 魅力を感じる点



どのようなことに魅力を感じるかという設問には、「担当する治験あるいは臨床研究の社会的意義」「学術的なインセンティブ」「所属施設における臨床研究の効率的実施に対する貢献」「金銭的なインセンティブ」「昇進につながる可能性」の順に高かった。

その他の魅力として「創造的な仕事ができること」「担当する研究者やCRC等に貢献できていることを感じること」「データマネージメントをすることで、担当する研究の科学的な質が向上し、回り回って患者の治療選択のひとつになりうるという期待感」等の記載があった。

(10) データマネージャーのあり方

データマネージャーのあり方についての考えを自由記載してもらったところ、以下のような意見があった。

- ・データの質の向上を目指していくためにも、職種、分野、施設を超えた人的交流がもっと必要なのではないか。
- ・治験、臨床試験担当医師は日常業務が多忙であり、それを事務的に補佐するデータマネージャーは治験臨床試験をもれなく行う上で重要である。
- ・各施設より回収されたデータをクリーンにし、レポートを作成し、研究に貢献できる大切な役割だと思う。また、研究がスムーズにいくためにも、臨床研究コーディネーターとまではいかないが、重要なポジションだと思う。
- ・多種多様な治験依頼者のデータマネージメントシステムの標準化を図ることによって、医療機関がその都度対応している時間と労力の無駄をなくしていきたいと思う。データマネ